

普及活動情勢報告（令和４年４月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

水稻実証ほを設置しました！ ～奨励品種決定試験～



田植えの様子

４月７日、高知普及所と JA 高知市の職員計 8 名で、高知市屋頭に奨励品種決定試験ほを設置しました。今年度は、現奨励品種である‘南国そだち’‘よさ恋美人’‘コシヒカリ’に加え、次期候補品種として‘高育 82 号’を移植しました。参加者からは「‘高育 82 号’の生育や収量が気になる。」といった意見があり、今後は生育・収量調査を行い、注意深く観察していきます。

試験の途中経過および結果は、7 月の現地検討会や 11 月からの研修会等で随時報告する予定です。普及所は、今後も水稻の安定栽培技術の確立と普及推進に取り組んでいきます。

令和４年度 第一回新規就農者支援チーム会を開催 ～キュウリ産地の受入強化に向け～



新支援チーム員

４月 13 日、JA 高知県春野営農経済センターにて、春野新規就農者支援チーム会を開催しました。令和 4 年度の県内外での PR 活動等の年間活動計画について役割分担を確認し、また、キュウリで就農希望の研修候補生（1 名）について補助事業の有効な活用方法や今後の対応を協議しました。

今後、高知農業改良普及所は研修候補生の研修がスタートできるように関係機関と連携しながら支援を行っていきます。

循環扇利用型常温煙霧機の実用化を目指して ～開発メーカーとの打ち合わせ・現地実証試験～



循環扇付近に
常温煙霧機を設置します

現在、春野町の 5 カ所のハウスで、循環扇利用型常温煙霧機の実証機を導入し、実証試験を実施しています。

３月 29 日、春野営農経済センターにて、JA 春野、有光工業(株)および普及所の 3 者で、常温煙霧機の実用化に向け、打ち合わせました。普及所は、これまでの実証試験の結果から、異なるハウス構造でも、ハウス内に均一に薬剤が拡散することを説明しました。その後、実証ハウスで、生産者を交え、常温煙霧機のより適した設置方法等について検討しました。

今後も普及所は、JA と連携しながら、常温煙霧処理による予防防除のメリットを生産者にしっかり伝え、実用化に向けて引き続き支援をしていきます。

ミョウガのハウスを視察しました ～ハウスミョウガ現地検討会～



普及所からの説明

4月15日に土佐山支部ハウス茗荷生産組合、4月19日にJA高知市大津支部園芸部ハウスミョウガ部会の生産者ほ場にて現地検討会が開催され、それぞれ9戸(12名)、3戸(4名)が参加しました。

参加者のほ場を巡回し、現在の栽培状況について活発な意見交換が行われました。普及所からは、ミョウガにおける環境制御やGAPの取組について説明し、生産者から現在の生育や今後の栽培管理等についての質問がありました。

普及所は、今年度も関係機関と連携し、生産者の課題解決に向け支援をしていきます。

HACCPの考え方を取り入れ衛生管理に取り組もう！ ～七ツ淵筍加工組合目慣らし会～



目慣らし会の様子

4月6日、七ツ淵筍加工組合が目慣らし会を開催し、組合員約15名が参加しました。

組合長が掘り終えた筍の等階級のサイズや調整方法を説明し、参加者で確認しました。普及所からは、事前に組合側と協議して作成した、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の内容について説明し、項目ごとにチェックしてもらうよう促しました。

普及所は、今後も関係機関とともにHACCPの考え方を取り入れた衛生管理が継続できるように、支援をしていきます。